令和４年度　指定管理者モニタリング評価シート

施設名称	松原市文化会館
所在地	松原市田井城１丁目３番１１号
事業内容 （設置目的）	市民の芸術・文化の普及及び振興と市民生活の向上を図り、併せて集会等の用に供することを目的とする。
所管部課	市民協働部　いきがい学習課
指定管理期間	令和３年４月１日から令和８年３月３１日まで
指定管理者	一般財団法人　松原市文化情報振興事業団
指定管理料	１２６，０００，０００円（３施設合計）

評価項目	評価の基準	評価	
		指定管理者	担当課
市民の利便性向上について	市民へ平等利用の確保が行われたか。	A	A
	個人情報保護のための措置は適切に行われたか。	A	A
	苦情への対応及び防止策は適切に行われたか。	A	A
	利用者ニーズの把握に努め、サービス向上の取組が行われたか。	B	B
	施設の利用率（利用者数・稼働率）は昨年度と比べ上昇したか。	B	B
適正な施設管理運営について	施設、設備の保守・点検は適切に行われたか。	A	A
	備品の管理は適切に行われたか。	A	A
	職員の人員配置は適切に行われたか。	A	A
	職員の指導育成、研修体制は十分にされたか。	B	B
	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制が十分であったか。	A	B
	管理運営経費縮減への取組の方策は適切に行われたか。	A	A
	自主事業について創意工夫がなされているか。	A	B
指定管理者の経理について	収支計画と収支実績に乖離はなかったか。	A	A
	経営状況は良好であるか。（貸借対照表等による）	A	A

〈評価〉　A：優れている　　B：問題ない　　C:改善を要する又は改善を指示

評価コメント

「市民の利便性向上について」
・市民への平等利用の確保については情報発信の方法を工夫し、施設利用の周知が徹底できている。
・個人情報保護のための措置については、団体の方針及び市条例に沿って取り扱っているほか、臨時職員等への指示も行っており、個人情報の保護を徹底している。
・苦情が発生しないように事前に十分打合せをするなど、トラブル防止に努めている。利用者に十分な事前説明を徹底している。
・利用者ニーズ調査に係るアンケート調査を分析し、次回に活用できるように取り組んでいる。
・施設利用については、コロナ前の水準には戻っていないが、回復傾向にある。

「適正な施設管理運営について」
・施設、設備の保守点検等を実施し、長時間に渡る使用に耐えるよう維持管理を徹底している。
・備品の管理においては、管理台帳等を整備し、機器のメンテナンスにより、適切な施設維持を徹底している。
・職員の人員配置については、各施設に責任者を配置し臨機応変に対応できる十分な体制をとっている。
・職員の研修についても、様々な分野の研修に参加させ、スキルアップに努めている。
・施設周辺の点検に努めている。又、緊急時のマニュアル等も整備されており、訓練の実施等を行い緊急時は円滑に対応できるよう努めている。
・経費削減について、安全対策を重視しながら光熱水費等節減を行い、効率的な運用に取り組んでいる。
・自主事業について、施設の目的に沿った事業を展開しており、近隣他館での実施状況を調査し、他館で実施していない講演を実施し、より多くの参加者を募るための工夫は講じている。

「指定管理者の経理について」
・徐々に事業が実施できるようになり、利用料金、自主事業の収入が増加したことから黒字を堅持し、良好な状況である。

令和４年度　指定管理者モニタリング評価シート

施設名称	松原市民ふるさとぴあプラザ
所在地	松原市上田７丁目１１番１９号
事業内容 （設置目的）	郷土資料、美術映像、書誌及び文化学習に係る情報の提供を行い、並びにこれらの情報交換の場及び発表の場を提供し、もって市民文化の創造と振興に寄与することを目的とする。
所管部課	市民協働部　いきがい学習課
指定管理期間	令和３年４月１日から令和８年３月３１日まで
指定管理者	一般財団法人　松原市文化情報振興事業団
指定管理料	１２６，０００，０００円（３施設合計）

評価項目	評価の基準	評価	
		指定管理者	担当課
市民の利便性向上について	市民へ平等利用の確保が行われたか。	A	A
	個人情報保護のための措置は適切に行われたか。	A	A
	苦情への対応及び防止策は適切に行われたか。	A	A
	利用者ニーズの把握に努め、サービス向上の取組が行われたか。	B	B
	施設の利用率（利用者数・稼働率）は昨年度と比べ上昇したか。	B	B
適正な施設管理運営について	施設、設備の保守・点検は適切に行われたか。	A	A
	備品の管理は適切に行われたか。	A	A
	職員の人員配置は適切に行われたか。	A	A
	職員の指導育成、研修体制は十分にされたか。	B	B
	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制が十分であったか。	A	B
	管理運営経費縮減への取組の方策は適切に行われたか。	A	A
	自主事業について創意工夫がなされているか。	A	B
指定管理者の経理について	収支計画と収支実績に乖離はなかったか。	A	A
	経営状況は良好であるか。（貸借対照表等による）	A	A

〈評価〉　A：優れている　　B：問題ない　　C:改善を要する又は改善を指示

評価コメント

「市民の利便性向上について」
・市民への平等利用の確保については情報発信の方法を工夫し、施設利用の周知が徹底できている。
・個人情報保護のための措置については、団体の方針及び市条例に沿って取り扱っているほか、臨時職員等への指示も行っており、個人情報の保護を徹底している。
・苦情が発生しないように事前に十分打合せをするなど、トラブル防止に努めている。利用者に十分な事前説明を徹底している。
・利用者ニーズ調査に係るアンケート調査を分析し、次回に活用できるように取り組んでいる。
・施設利用については、コロナ前の水準には戻っていないが、回復傾向にある。

「適正な施設管理運営について」
・施設、設備の保守点検等を実施し、長時間に渡る使用に耐えるよう維持管理を徹底している。
・備品の管理においては、管理台帳等を整備し、機器のメンテナンスにより、適切な施設維持を徹底している。
・職員の人員配置については、各施設に責任者を配置し臨機応変に対応できる十分な体制をとっている。
・職員の研修についても、様々な分野の研修に参加させ、スキルアップに努めている。
・施設周辺の点検に努めている。又、緊急時のマニュアル等も整備されており、訓練の実施等を行い緊急時は円滑に対応できるよう努めている。
・経費削減について、安全対策を重視しながら光熱水費等節減を行い、効率的な運用に取り組んでいる。
・自主事業について、施設の目的に沿った事業を展開しており、近隣他館での実施状況を調査し、他館で実施していない講演を実施し、より多くの参加者を募るための工夫は講じている。

「指定管理者の経理について」
・徐々に事業が実施できるようになり、利用料金、自主事業の収入が増加したことから黒字を堅持し、良好な状況である。

令和４年度　指定管理者モニタリング評価シート

施設名称	松原情報文化アメニティセンター「ゆめニティプラザ」
所在地	松原市上田３丁目６番１号
事業内容 （設置目的）	地域コミュニティの育成に寄与し、市民文化の向上及び振興を図ることを目的とする。
所管部課	市民協働部　いきがい学習課
指定管理期間	令和３年４月１日から令和８年３月３１日まで
指定管理者	一般財団法人　松原市文化情報振興事業団
指定管理料	１２６，０００，０００円（３施設合計）

評価項目	評価の基準	評価	
		指定管理者	担当課
市民の利便性向上について	市民へ平等利用の確保が行われたか。	A	A
	個人情報保護のための措置は適切に行われたか。	A	A
	苦情への対応及び防止策は適切に行われたか。	A	A
	利用者ニーズの把握に努め、サービス向上の取組が行われたか。	B	B
	施設の利用率（利用者数・稼働率）は昨年度と比べ上昇したか。	B	B
適正な施設管理運営について	施設、設備の保守・点検は適切に行われたか。	A	A
	備品の管理は適切に行われたか。	A	A
	職員の人員配置は適切に行われたか。	A	A
	職員の指導育成、研修体制は十分にされたか。	B	B
	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制が十分であったか。	A	B
	管理運営経費縮減への取組の方策は適切に行われたか。	A	A
	自主事業について創意工夫がなされているか。	A	B
指定管理者の経理について	収支計画と収支実績に乖離はなかったか。	A	A
	経営状況は良好であるか。（貸借対照表等による）	A	A

〈評価〉　A：優れている　　B：問題ない　　C:改善を要する又は改善を指示

評価コメント

「市民の利便性向上について」
・市民への平等利用の確保については情報発信の方法を工夫し、施設利用の周知が徹底できている。
・個人情報保護のための措置については、団体の方針及び市条例に沿って取り扱っているほか、臨時職員等への指示も行っており、個人情報の保護を徹底している。
・苦情が発生しないように事前に十分打合せをするなど、トラブル防止に努めている。利用者に十分な事前説明を徹底している。
・利用者ニーズ調査に係るアンケート調査を分析し、次回に活用できるように取り組んでいる。
・施設利用については、コロナ前の水準には戻っていないが、回復傾向にある。

「適正な施設管理運営について」
・施設、設備の保守点検等を実施し、長時間に渡る使用に耐えるよう維持管理を徹底している。
・備品の管理においては、管理台帳等を整備し、機器のメンテナンスにより、適切な施設維持を徹底している。
・職員の人員配置については、各施設に責任者を配置し臨機応変に対応できる十分な体制をとっている。
・職員の研修についても、様々な分野の研修に参加させ、スキルアップに努めている。
・施設周辺の点検に努めている。又、緊急時のマニュアル等も整備されており、訓練の実施等を行い緊急時は円滑に対応できるよう努めている。
・経費削減について、安全対策を重視しながら光熱水費等節減を行い、効率的な運用に取り組んでいる。
・自主事業について、施設の目的に沿った事業を展開しており、近隣他館での実施状況を調査し、他館で実施していない講演を実施し、より多くの参加者を募るための工夫は講じている。

「指定管理者の経理について」
・徐々に事業が実施できるようになり、利用料金、自主事業の収入が増加したことから黒字を堅持し、良好な状況である。